

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	・来月はゴールデンウィークもあり来沖の航空便も満席状態なので、来客数、売上共に期待できる。
	◎	家電量販店（営業担当）	・前年は天候不順と新型コロナウイルスの影響で数値が悪化していた。その影響で今年の2～3か月後は反動増が予想される。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルス感染率が高くなっているが、PCR検査を積極的にした結果なので、今からワクチン3回目接種を行うことで、観光客も戻りつつある。
	○	百貨店（店舗企画）	・新型コロナウイルスの感染状況は高止まりしているが、3回目のワクチン接種も徐々に進んでいることから、期待感が強まる。
	○	スーパー（企画担当）	・ここに来て、観光客が増えつつあり、県経済にとっては明るい兆しがみられる。そのようななかで、家計における節約疲れから消費意欲が改善するとみられる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの治療薬も出てきて人の動きが活発になっているので、景気の上昇が期待できる。
	○	コンビニ（店長）	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりのなか、ゴールデンウィークには多くの客が来店されており、観光客の姿もよくみられる。これは、感染者数と景気が反比例するのではなく、景気も上げながら新型コロナウイルス対策を行うウィズコロナの時代に入ってきたとみている。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスへの対応が変化しつつあり、全国的に人流は活発化し、前年を上回る景気動向になっていくと判断する。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・ゴールデンウィークで良くなり、その後また静かになりそうだと予想している。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊予約は前年と比べて良くなっている。料飲部門はまだ低調である。
	○	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの4月の販売室数は前年比1%増加なのに対し、4月末時点での7月の予約室数は前年比36%増加とプラス幅が大きくなっている。
	○	観光名所（職員）	・Go To Travelが再開する期待がある。
	□	スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス問題、物価高騰、ウクライナ戦争など将来不安が多くあり、消費者の財布のひもはますます固くなり景気回復の見通しは大変厳しい状況にあると考えられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言も全解除状態なので、売上のアップを期待していたが、様々な物品の値上げの影響か、売上が上がらない。客の出も良くない状態である。今のところ景気が良くなる気配がしない。まだまだ我慢の状態だとみられる。
	□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まり市場が活気付かないと変わらないとみている。来店せずにWebで手続きを済ませる傾向も高まっているのでそれも影響している。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注について、法人需要は戻りつつあるものの観光需要は依然厳しい状況である。全国対象のGo To Travel再開等の起爆剤がないと受注増加は難しい。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・不動産価格の高止まり、建築資材価格の高騰もあり良くなる要因が見当たらない。
	□	住宅販売会社（役員）	・不動産売買において現在より需給が良くなるかという点、そこまですは見受けられない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・ゴールデンウィーク明けは、いろいろな物の価格の高騰で景気が悪くなるとみている。
▲	旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの影響も残りながら、原油価格の高騰も重なり、かなり厳しい状況になりそうである。取引会社からも、経費削減のため出張等もかなりなくなりそうという声も聞こえる。	
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しない限りは全般的に大変な状況かとみている。	
×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・食材の値上がりも厳しく、単価に反映しにくい。求人数が厳しく、時給等どんどん上がっている。また、新型コロナウイルスで飲食を自粛している地元客の戻りが鈍い。	
企業 動向	◎	食料品製造業（役員）	・今後は沖縄の本土復帰50年でイベントも増加するので、沖縄への観光客の増加やフェアの増加が見込める。

関連 (沖縄)	○	広告代理店（営業担当）	・いまだ収束がみえない新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻による経済的ダメージを危惧する状況はあるものの、沖縄の本土復帰50周年をビジネスチャンスと捉える県内企業も多いことから、多少なりとも販促活動が活発になるとみている。
	□	窯業土石業（取締役）	・公共、民間工事の見積依頼、受注とも横ばいの状況が続いており、当面現状で推移するとみられる。
	□	建設業（経営者）	・見込みの高い客の集客の動きが鈍い。
	□	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、石垣島の陸上自衛隊関連工事の官需部門と宮古島のホテル関係の民需関連で回復の兆しがみられ、軽石の影響も軽減しているが、新たな新型コロナウイルス変異株の感染増加と燃料油を始めとした物価の上昇の影響が懸念される。
	□	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているがウィズコロナの状況が継続すると考えられるため、新型コロナウイルス発生前と比べると景気は良くはないが、特段変化はないと推察する。
	▲	—	—
	×	会計事務所（所長）	・好転材料が見当たらない。
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・ようやく動き出した派遣依頼は、このまま順調に推移していくのではないかと期待感がある。新型コロナウイルスの環境も落ち着きつつあり、周辺企業の動きも活発になっている。
	○	人材派遣会社（総務担当）	・求人案件が増加しているが、人材不足でなかなかマッチングができない状況である。
	○	職業安定所（職員）	・観光、飲食関係の求人数は上向きの印象がある。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・今後は中小企業の採用活動が中心となってくるため、求人数としては徐々に減少していくとみられる。コロナ禍ではあるが、急激な変動はなく、例年どおりの推移と予想している。
	□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・一旦求人数が増加してきたが、新型コロナウイルス新規感染者数が徐々に増加傾向にあるので、求人をためらっている企業もある。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・例年、夏シーズンは求人数が減少する時期ではあるが、求人計画の予定や募集再開準備に向けた動きなどもみられ、差引きプラスマイナスゼロかとみている。
	▲	—	—
×	—	—	